

てくてく通信No.108

発行日 2023年09月03日

発行 福岡県ウォーキング協議会

<https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/walk/>

連絡先

新日本スポーツ連盟福岡県連盟事務所

〒811-2121 糟屋郡宇美町平和1-3-11

TEL・FAX 092-934-0853

e-mail : njsf_fukuokaken40@lib.bbq.jp

新日本スポーツ連盟福岡県連盟北九州事務所

〒806-0013 北九州市八幡西区清納1-1-10

TEL・FAX 093-662-9278

e-mail : krc-fn@jcom.home.ne.jp

《8月例会報告》「別府東山ハイキングコースと鶴見岳」

暑さとハードコースに苦戦

嶋田 良裕

8月26日(土) 昼過ぎ、志高湖半到着したのは、男3人(嶋田・椿・西村)、売店でおにぎりと完備ビールを仕入れ、腹ごしらえして出発。天気は晴れたり曇ったりだが、標高600mにしては暑い。

キャンプ場を抜けると森の中、風が吹くとさすがに爽やかさを感じる。道を進むとソーラーパネルの巨大集積場が出現圧倒される。

やがて見晴らし展望台、鶴見岳や由布岳の眺望が期待されたが、山頂は雲に覆われて見えず。杉林



の道を下っていると谷越しに城島高原パークのジェットコースターや観覧車が見通される。江戸時代から祀られているお地蔵さんを見て、やがて民家が点在する車道に出会う。道を迷いながら山の中へ。

由布川溪谷の源流のせせらぎを聞き、小さな滝の傍を丸木橋で渡ると登りが始まる。汗をかきかき30分歩くと、愛宕神社に到着、大杉と鳥居に迎えられる。

休憩後歩きを再開、ダラダラとした登り道が続く。神楽女湖方面の分岐点へ。出発して3時間強、8K地点、疲労と時間の関係でゴールの志高湖へ向かう。

湖には白鳥が優雅に泳いでいた。その後、別府湾を望むホテルへ。RCセンターの3人と合流、温泉で疲れを癒し酒と食事を堪能する。

27日(日) 9時 鶴見岳鳥居登山口、昨日の3人と田淵さんの4人で出発。まもなく御嶽権現社、霊水で口をゆすぎ、山頂へ向け進む。それほど急傾斜じゃないが足が重たい。暑さも有り汗で眼鏡が曇り、昨日のウォークの疲れか、足が痛く踏ん張りがきかず、900m地点でギブアップして下山。

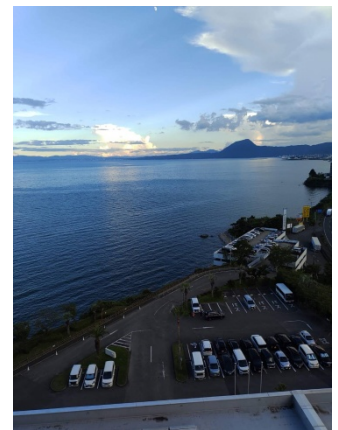


3人は登頂成功(一人はロープウェイで降りる)。日頃の運動不足と年を感じた2日間だった。

ハイキングと登山に格闘した♡

西村 文男

出発当日の朝、8時出発と聞いたが、待てど暮らせど嶋田さんが来ない。椿



さんから電話で「もう家を出たん？来るの待っとるんやけど」、「こっちは嶋田さんが来るのを待っとるんやけど」「いや、嶋田さんの所に行くち聞いたよ」スタートは認知症で始まった。

9時に嶋田宅を出発して、12時に志高湖に到着。売店で食事をして、13時から別府東山ハイキングコース（11^{キロ}、3時間）を歩き始めた。

アップダウンが激しく、台風で道が荒れて、倒木が道をふさいでいる。大自然と格闘しながらのウォークとなった。途中、水量豊かな冷たそうな水路があり、手袋を取って水につけたとたん、手袋を水流に流されてしまった。あきらめていたところ、その水路と下の方で合流した時、何と流された手袋が石と石の間に挟まれていた。

6^{キロ}を過ぎたところで3時間を過ぎていた。このまま歩いていくと4時間を過ぎて17時までにゴールできない。そこで、近道を見つけて17時までにゴールした。汗だく靴は泥だらけであった。

次の日は鶴見岳登山（1,375m）である。火男火売神社の駐車場の登山口から9時34分に登りだし11時24分に山頂についた。



火男火売神社の下には冷たい「神の水」が流れだしていた。

途中であった登山者は「この山は上に行くほど険しくなりますよ」と言うだけあって、斜度30度から40度の斜面が頂上まで続いた。途中、鹿が現れカメラを向けるとポーズを取り、撮り終わると去って行った。

頂上で昼食をして12時50分には下山を始め、14時20分には登山口の駐車場に着いた。

二日間とも天気には恵まれたが、熱中症警戒アラートが出される中でのウォークとなったので、過酷な登山となった。そして、鶴見岳は頂上だけ雲に隠れて、顔を出すことはなかった。

駐車場を15時に出発して、16時30分には自宅に着いた。

《9月例会案内》 「大野城と四王寺山散策」

宇美町、大宰府市、大野城市にまたがる四王寺山にある古代山城、これが大野城跡になります。城の範囲は、東西約1.5^{キロ}、南北若3^{キロ}。城跡最大の石垣「百間石垣」や「増長天礎石群」、「毘沙門堂」など、城内の約80%は宇美町内に位置しています。大野城跡は、国特別史跡に指定されています。四王寺山には33か所の石仏が建立されています。急な登り降りはありません。散策してみませんか。

日 時：2023年9月23日（土・祝）

集 合：10時15分 県民の森センター

参加費：500円（会員）、1,000円（会員外）

持ち物：弁当、水筒、雨具等

締 切：9月21日（木）

コース：

《てくてくコース》センター出発～百間石垣～鮎返りの滝～小石垣城門跡～持国天～遠見所（石仏あり）尾花礎石群（焼米ヶ原）～昼食・休憩～センターへ（3^{キロ}）約1時間30分

《健脚コース》上記コースの後、昼食・休憩～増長天礎石群～坂本口城門跡～水城口城門跡～26番札所～毘沙門堂～ハツ波礎石群～センターへ（3.5^{キロ}）約2時間



交通：香椎駅8:54発—長者原駅9:08発—宇美駅9:54着

博多駅8:52発—長者原駅9:04着

帰り：宇美駅15:54発—長者原駅16:14着—香椎駅16:31着

長者原駅16:23発—博多駅16:37着

※宇美駅から送迎車あり。10時出発。

9月例会参加申込書

| | | | | | |
|----------------|---------------------------------------|----|----|----|--|
| 氏名 | | 性別 | 男女 | 年齢 | |
| 住所 | 〒 | | | | |
| 連絡先及び 緊急連絡先 | | | | | |
| 備考 | ① てくてくコース ②健脚コース | | | | |

* 今後の予定

○10月例会:正助村と新立山登山 29日(日)

親孝行で殿様から田をもらい、のちに税金を免除された宗像の武丸正助さんの地を歩きます。

○11月例会:中津街道を歩く 26日(日)

北部九州における主要道の一つで小倉で長崎街道、秋月街道などの街道と集結し、赤間関への渡海地・大里から中国路とつながっている。また、中津から南は、宇佐、府内、宮崎へと東九州を貫く日向街道の一部。小倉から苅田、大橋、椎田、松江(しょうえ)、八屋、中津とつづく道で貝原益軒と菱屋平七の二人も歩いた。

新スポ連「スポーツのひろば」のLINE公式アカウントの“友だち”を募集中です。

これに登録すると、各地・各種目の新スポ連の最新情報や「ひろば」の内容が定期的に届きます。

新スポ連「スポーツのひろば」 LINE 公式アカウント

友だち募集中

ID @854uzmdx

各地・各種目の新スポ連の最新情報や機関誌「スポーツのひろば」の内容を定期的に配信します

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください